

## 4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する

### 起きてはならない最悪の事態

- ・ 南海トラフ地震により、四国内の各発電所や送電設備、変電所が大きな被害を受け長期停止に陥り、石油等の燃料についても基幹道路等の被災により輸送できず、情報通信が長期間麻痺する。
- ・ テレビ・ラジオ局の損壊とともに、長期にわたり電力供給が停止し、津波浸水のため機器が使用不能となり、市民に重要な情報が届かない。
- ・ 災害時に活用する情報サービスが機能停止し、臨時情報や津波警報等の収集・伝達ができず、避難行動や救助支援が遅れ、多数の死者が発生する。

4-1) 防災・災害対応に必要な通信インフラの麻痺・機能停止

4-2) テレビ・ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態

4-3) 災害時に活用する情報サービスが機能停止し、臨時情報や津波警報等の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる事態

### <要点>

総合情報通信ネットワークシステムのデジタル化や多重化等により、県民への情報伝達体制の強化や情報通信システム基盤等の耐災害性の向上等を図り、情報通信が麻痺や長期停止することがないように対策を講ずるほか、避難行動要支援者に対する避難行動等の支援等により迅速な避難を促し、死傷者の発生を防ぐ。また、放送設備の非常用電源設備の津波浸水対策等に努めテレビ・ラジオ放送の中断等を防ぐ。

### 情報通信事業者や放送事業者等との連携強化

- 定期的に鳴門市防災会議を開催し、情報通信事業者や放送事業者をはじめとする県内の防災・危機管理関係機関等との連携強化を図り、総合防災訓練等を実施することで実効力を高める。

- ・ 鳴門市防災会議の開催                      開催（R1） → 毎年度開催
- ・ 総合防災訓練の実施（再掲）              実施（R1） → 毎年度実施

### 放送設備の電力確保対策の促進

- 災害時に電力供給が停止した場合に備え、非常用電源設備の津波浸水対策や燃料備蓄に努める。

### 放送継続が可能となる体制の整備

- BCPや災害対応マニュアルを策定し、関係機関と連携した訓練等により、大規模災害時においても、テレビ放送が中断することがないように対策を講じる。

### 情報通信基盤の整備及び利活用の促進

- 通信事業者等の回線が停止した場合にも被災状況の確認や復旧活動等に支障を及ぼさないよう、衛星携帯電話の配備等による代替性の確保を図る。

### 情報伝達体制の強化

- 災害時情報通信ネットワークのデジタル化や多重化が進められるとともに、公共施設等における公衆無線LANの整備やJ-ALERT・防災行政無線による放送等に加えて、すだちくんメールやエリアメールの活用など情報伝達方法の強化が図られたところであるが、システムの安定運用や各種情報の普及啓発など、さらなる取り組みを推進する。
- 災害時情報共有システムにより収集された各種防災情報をGIS上で可視化し、「総合地図提供システム」、「安心とくしまHP」や「Lアラート」で情報提供をするシステムの安定的な運用と情報発信手段の多様化を図る。

### 孤立化集落の不感エリアの解消

- 孤立化集落発生時に外部との通信手段を確保するための資機材の整備検討や避難所の機能強化を促進しているところであるが、進捗途上にあるためさらに推進する。

### 情報収集・共有体制の強化

- 「すだちくんメール」をはじめ各種安否確認サービスの普及を図るとともに、SNSを活用した情報収集体制を構築し、行政のみならず市民相互が必要とする様々な災害情報の収集・共有体制を確立する。



### 市災害時要援護者対策の促進

- 「災害時要援護者対策」を効果的に進めるため、避難行動要支援者名簿を作成し、地域との共有を図るとともに、避難行動要支援者の個別計画作成の取り組みを一層促進する。

- ・ 避難行動要支援者に対する個別計画の作成促進（再掲）

促進（R1） → 促進（R5）

- 障がいのため意思疎通に支援が必要な方々に必要な支援を行うため、平素から個々の障がい特性に対する理解と認識を深め、いざという時に適切に対応できるようにするため、災害時に、障がい者を支援するための「防災ハンドブック」を周知する。

### 臨時情報が発表された場合の情報伝達体制の確立

- 臨時情報が発表された場合の情報伝達に係る防災訓練の実施等により、臨時情報発表時における防災対応の体制整備・連携体制の強化、また臨時情報に関する住民理解の促進を図る。

- 地域の事前防災・減災体制の整備を促進するため、気象庁が発表する「南海トラフ地震臨時情報」を活用した、「防災対応」の計画を策定する。

- ・ 「臨時情報」を活用した「防災対応」の計画策定（再掲）

着手（R1） → 策定・運用（R2）